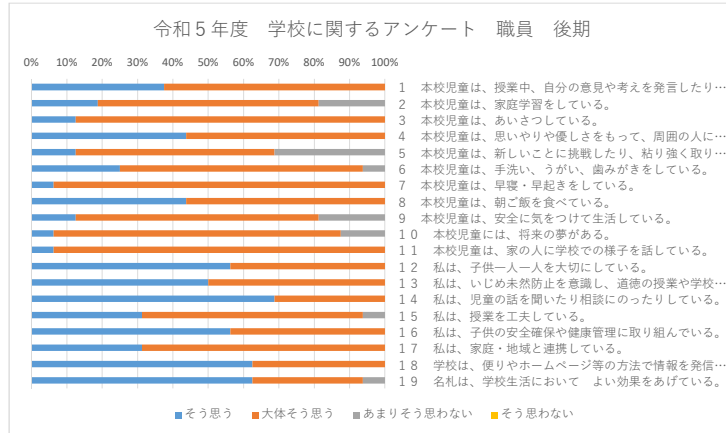
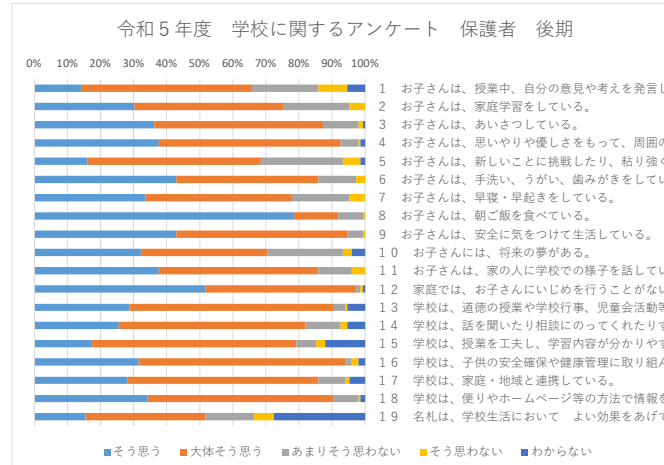
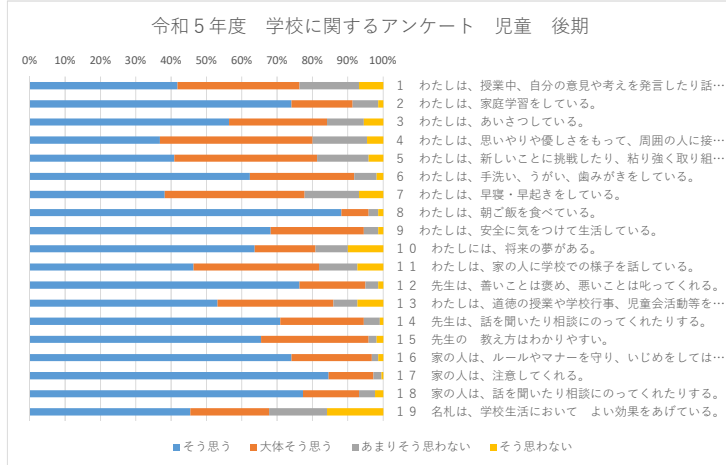


令和5年度 浜松市立北浜東小学校 学校評価



○ 結果 R5前期の割合 → R5後期の割合

項目	R5前期の割合	R5後期の割合
「1 学習中、自分の意見や考えを積極的に発言したり話し合ったりしている。目標80%」		
児童	78.5%	76.4%
保護者	69.9%	65.8%
職員	93.3%	100%
「4 思いやりや優しさをもって、周囲の人に接することができる。目標90%」		
児童	86.8%	80%
保護者	93.2%	92.6%
職員	93.3%	100%
「5 新しいことに挑戦したり、粘り強く取り組んだりできる。目標80%」		
児童	81.7%	81.4%
保護者	72.6%	68.5%
職員	73.3%	68.8%

1 自己評価

《児童の傾向》

- ・1に関して、前期よりも低くなっている。教員は場を工夫することで児童のよい表れを把握しているが、児童自身のイメージする姿と差が生じていると考えられる。
- ・4に関して、大人よりも低い評価数値になっていることについて、自己肯定感が低い児童がいると思われる。
- ・5に関しては、概ね目標を達成できたといえる。しかし前期よりも低くなったことについては、児童自身の目標設定の高低に起因するものと考えられる。
- ・13について、85%の児童はいじめ防止・対応について肯定的な意見を持っている。

《保護者の傾向》

- ・1、5に関しては、児童の学校での様子を常に見ていないから分からないということ、我が子によりよくなってもらいたいということから厳しい評価になったと考えられる。
- ・13について90%の保護者はいじめ防止・対策について肯定的な意見を持っている。

2 学校関係者評価 (12/18 (月)開催)

- 1について、生活の中で発せられている言葉を聞いていると、より豊かな語彙を増やして行ってほしい。
- 3について、同じ子であっても、場によってあいさつのできる・できないの差が大きい。いつでもという訳ではないが、場に応じたあいさつが自然にできる子になってほしい。
- 13について、アンケートによる発見の割合がものすごく高いので、今後も継続して定期的に行ってほしい。

3 今後の改善方針

- 1について、まずは「伝えたい・知りたい」という気持ちをもてるような授業づくりをする。その上で、「その子なりの表現で」伝えられる場を設けていく。
- 4について、自他を大切にしていける心をさらに育てていくために、構成的エンカウンターを充実させていく。
- 5について、短期的・長期的な自己目標設定場面を意図的に設けた上で、振り返りの時間を充実させていく。
- 13について、引き続きいじめアンケートを定期的に行うとともに、いじめの起こりにくい環境づくり、いじめの早期発見・早期対応に組織的に取り組んでいく。